

⑩公立岩瀬病院南棟(産科婦人科)の開院

4月から診療を開始し「安心して子どもを産み育てられる医療環境づくり」に貢献できるものと期待しています。

今後も安定した地域医療体制の確保のため、支援していきます。

⑪高齢者福祉の推進

地域包括ケアシステムは、これまでの医療・介護分野の連携強化に加え、新たに「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症への早期対応を図っていきます。

⑫地域コミュニティ活動の支援

ふるさとづくり支援事業や集会施設の整備支援を継続します。また、町内会や行政区の地域課題解決のため、新たに相談支援業務を行う「地域づくりアドバイザー」を委嘱し、地域力の向上を支援していきます。

⑬公共交通網の整備

東西循環バスは、須賀川市新庁舎へ乗り入れを行います。また、従来の平日運行に加え、4月から6月までの3か月間は、土曜日のテスト運行を行い、効果を検証しながら利便性の向上を図っていきます。

⑭道路整備事業

南町地内(JA斎場南側)の市道1529号線JR踏切改良工事に着手し、30年4月の供用開始を目指します。また、志茂地内(特老長沼ホーム脇)の市道I-38号線道路改良工事は29年度中の完成を目指しています。

⑮新規工業団地の整備

将来的な企業用地の需要に対応するため、滑川地区への整備を進めており、29年度は環境影響評価と地質調査を実施します。

⑯藤沼ダムの維持管理

県営事業により復旧工事が行われ、ダム堤体が完成しました。農業用水の供給開始に向け、現在は、澁水が行われています。

今後ダムは、市に引き渡されますので、県や江花川沿岸土地改良区と連携し、適正な維持管理を行っていきます。



⑰観光誘客の推進

29年度は、松明通りにウルトラマンキャラクターのベンチの設置や、事業者などと連携したソフト事業を展開していきます。

また、30年度オープン予定の(仮称)円谷英二ミュージアムの展示準備を進めていきます。

⑰子育て支援の充実

子どもの健やかな成長を支援するための「18歳までの医療費無料化」や「すくすく赤ちゃん応援事業」など、各種子育て支援施策を引き続き実施し、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めていきます。

また、経済的理由で結婚に踏み出せない人を対象に「結婚新生活支援補助事業」を実施し、新生活のスタートを支援していきます。



⑱学校教育の推進

すべての中学校区に学校司書を配置し、読書への興味関心を高め、豊かな心と確かな学力の育成を図っていきます。

また、児童生徒の心の居場所として、安心して学べる学校図書館の環境づくりを進めていきます。



⑲学校教育施設の整備・充実

本市初の施設一体型の小中一貫校である稲田小学校は30年3月、第二中学校の校舎増築は今年10月の完成を目指して取り組んでいます。

平成29年度主要な施策

新たな須賀川の創生へ

企画財政課(仮設庁舎) ☎(88)9111

市では、「第7次総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいたまちづくりを推進しています。平成29年度の主要な施策についてお知らせします。

④幼児教育・保育の充実

今年度から5歳児の基本保育料を無料とし、小学校就学前の児童が等しく幼児教育を受けられる環境を整備します。5歳児から中学校卒業までの10年間を義務教育と捉えた、幼小中一貫教育を推進します。



⑤日本たばこ産業(株)旧東日本原料本部跡地の利用

本市の各種計画に基づいたまちづくりとの整合性を図りながら、製造部門や物流部門の立地など、産業拠点としての整備を進めていきます。

⑥福島空港の利活用推進

空港の活性化は、本市の交流人口の拡大や地域活性化に直接結びつくため、空港利用団体やビジネス利用者に対する助成を継続していきます。

また、国内路線の利便性の向上と国際定期路線の早期再開に向け、県などとともに取り組んでいきます。

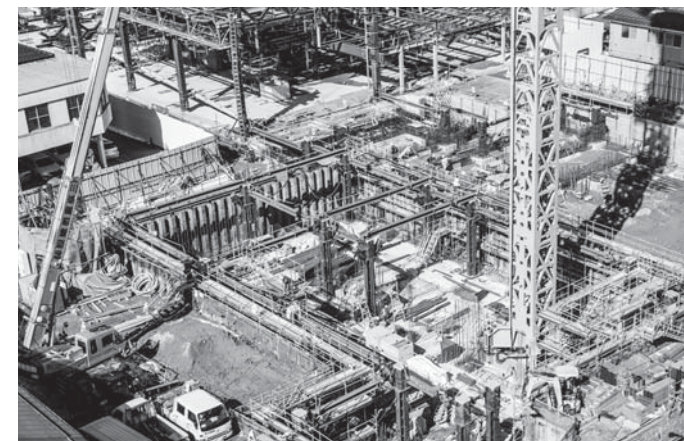


①新たな総合計画の策定

30年度を初年度とする新たな総合計画の策定に着手しました。「市民との協働のまちづくり」をさらに発展させ、「あらゆる人に選ばれるまち」となるための指針として策定します。

②市民交流センターの整備

土工事や基礎工事が進み、現在地上部の鉄骨工事を進めています。29年度末の完成を目指し、安全を最優先にしながら工事を進めていきます。



③原子力災害対策

住宅地などの除染作業は28年度で完了しました。29年度は学校などの除染土壌等の搬出を進め、住宅地などからの搬出にも着手する予定です。

今後も放射能に対する市民の不安を一日も早く払拭するよう努めていきます。

